

新年度から市内の学校が始まります！

“ コミュニティ・スクール ”

今、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことが求められています。

石狩市教育委員会では、学校・家庭・地域が連携して子どもたちを育てるために、「15歳の子どもの姿（子ども像）」を共有し、様々な課題の解決に向かって協働する仕組み＝コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を新年度から導入します。（※石狩八幡小学校と厚田学園は、令和2年度から導入しています。）



あいさつがしっかりできて、
優しくたくましい子どもに
育ってほしいですね。

学校と地域が一緒になって
楽しめるイベントが
できたらいいですね。

放課後や学校が休みの日に、
地域が主体になって、
学習会ができるようになったら
いいですね。

子どもたちの
スマホやインターネット、
ゲームの使い方について、
話し合いたいですね。

“ コミュニティ・スクール（CS） ”とは、
「学校運営協議会」が置かれている学校をいいます。

学校長の推薦を受けた保護者や地域住民、学校運営ボランティアの代表のほか、
教職員、学識経験者などが、委員に任命されます。

《学校運営協議会の主な役割》

- 学校運営の基本方針を承認すること。
（教育目標、学校経営方針、教育課程の編成など）
- 学校運営について、教育委員会や学校長に意見を述べること。
（学校評価や学校支援、教職員の任用に関することなど）

“子ども像”の共有

取組の具体化
（子どもたちのために）

石狩市は「地域とともにある学校づくり」を進めています。

これまでの取組事例 ～ 学校支援地域本部事業 ～



家庭科(ミシン授業)の支援



絵本の読み聞かせ



学校廊下のワックスがけの支援



スキー学習の支援

これまで石狩市では、学校の先生方はもとより、保護者や地域の方々の協力をいただきながら、子どもの教育に関わる様々な取組が行われてきました。

この取組がもっと充実することを目指して、コミュニティ・スクール（ＣＳ）を展開していきます。

これからも、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

【お問合せ先】

石狩市教育委員会 生涯学習部 総務企画課 (Tel 72-3169)